

三一 烏山由緒書（那須烏山市蔵「平野家文書」）

烏山城の縄張が記されている。

烏山の御城ハ五城三郭之地也、五城ハ御本丸・古御本丸・北城・中城・西城是五城也、三郭ハ若狭郭・常盤曲輪・大野くるわ、是三曲輪、御城の東ハ中川、南ハ筑紫山、西ハ長者ヶ嶺、北ハ比丘尼山・霧ヶ沢、御城下桜井里、いにしへ桜井郷に式嶋乃道に心よせし人有、名も桜井にすみなからいかて朽し果んやと都江上り、花下の執筆を望侍る、（下略）

【補注】

この古記録は、幕末期以降の成立と思われる。